平成18年をふり返る まちの話題 特集

今年もはや12月。広報委員会では、この一年をふり返り、主な出来事を選んでみました。

香美市が誕生!!

土佐山田町・香北町・物部村が合併し、３月１日に新たに『香美市』が誕生しました。

９月10日、初の市議会議員選挙の投開票が行われ、新議員25人が決定しました。

４月２日、市長選挙が告示され、無投票で門脇槙夫氏が当選し、初代市長となりました。

閉町・閉村式典

合併前の２月、旧土佐山田町・香北町・物部村では、閉町・閉村式が行われ、それぞれの町・村の歴史に幕をおろしました。

アンパンマンミュージアム開館10周年

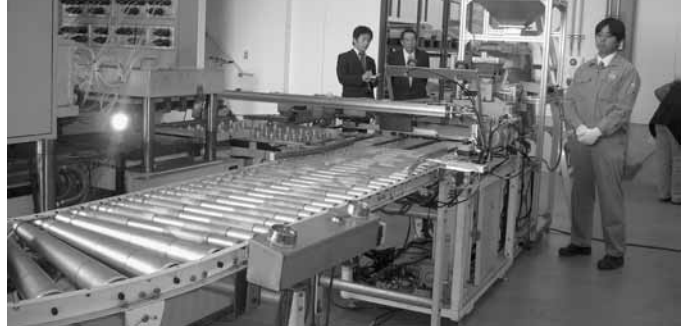
「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」が７月21日、開館10周年を迎えました。同館は６月には入館者が200万人を突破するなど、市を代表する文化・観光施設としてにぎわっています。

香美市のキャラクターが誕生

香北町出身のやなせたかし氏が制作した香美市のキャラクター13体が７月21日に披露されました。香美市を代表する自然・伝統・観光・特産物がモチーフとなったキャラクターが、香美市のＰＲに大活躍してくれます。

『塩の道』復活へ向けた取り組みが進む

塩や農産物を運ぶために使われた『塩の道』（全行程約27㎞）に住民有志らが休憩所となる「桜公園」を造成しました。また、「塩の道・香美市保存会」の設立（７月）、香南市の有志らと意見交換会の開催（８月）なども行われ、塩の道復活に向けた動きも活発となりました。

高知テクノパーク進出第１号企業が操業開始

平成16年４月から分譲が始まった工業団地『高知テクノパーク』への進出第１号企業の㈱山崎技研が３月に操業開始しました。９月には半導体製造関連のロボットメーカーである㈱ジェーイーエルの分譲契約も結ばれ、テクノパークが新産業の拠点として動き出しました。

大栃高が事実上の廃校へ

県教委が進める高校再編により、19年度を最後に大栃高校の募集を停止し、平成22年３月には事実上、廃校とされることが決定されました。約半世紀の歴史をもつ同校の廃校のニュースは、在校生や保護者、多くの卒業生、地域の人々には大きな衝撃でした。